

第54回

むかしの岩手

～ 地域食生活と穀物脱穀・加工調整用具 ～



平成24年10月6日(土)～12月27日(木)

岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

岩手県は広大な県土のなかで、地域によって地形や気象等の条件が大きく異なり、そこに住む人々は、その土地に適した様々な穀物を生産し、農業を営んできました。

昭和中期頃までの農家の食生活は、穀物と地域で手に入る食材を副食料として組み合わせ、栄養の調和をはかり、また、伝承されている加工や貯蔵方法などにより、地域の特徴を生かした食文化が形成されてきました。

冷涼な県北部では、主食料として稗、豆類、小麦（平常食）とそば（晴れ食）、比較的温暖な県中南部では米、麦（平常食）、もち（晴れ食）などの、食文化が伝承されてきました。

今回の企画展では、主食料である穀類の脱穀、精白、製粉などの調整用具の変遷と、当時の特徴ある地域の食べ物や食べ方を紹介します。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間 / 9:00 ~ 16:30 (入館は16:00まで)

休館日 / 月曜日 (月曜日が祝日の場合は火曜日)

入館料 / 一般290円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等 (20名以上) あります

駐車場 / 大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台